

謹賀新年

2024



雷電神社奥宮の彫刻

新年を迎えるにあたり町の各方面で活躍されている皆さまからごあいさつをいただきましたのでご紹介いたします
令和6年が皆さまにとって素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます

次世代につなぐ変えることのないもの

新年を迎えると、当たり前前に「明けましておめでとうございませう。本年も良い年でありませうように」と祝詞を交換いたします。

この一年間、世界はロシアのウクライナ侵攻に対し、何とか終結を願ひ、良い年にすため国連や大国の指導力に期待しましたが、核をちらつかせたロシアの勝手な振る舞いに、残念な状況が続いています。

何かが関連しているのか、ハマスとイスラエルの戦いも始まってしまいました。わずかの期間で2万人を超す死者が出る中で、不意打ちを食らった形で戦いに突入したイスラエルは、国の存亡をかけてハマス全滅の戦いを宣言し、容赦ない戦いが予想されます。人の盾を使うといわれているハマス陣営に対し、そのことを理由に病院、学校、その他の人の集合施設も攻撃の対象とする旨発表しており、一般人や子どもまで巻き込んだ血みどろの戦いも既に現実となつています。

人道上の避難のための休戦を、また、その期間を仲介国

や他のチャンネルを使って調整に入り、その効果をもとに停戦を目指す状況が続いているようです。子ども、女性を含む、故郷を捨てて定住先もないなかで移動を続けざるを得ない難民を見るとき、平和ボケした我々には心中察することさえできないのかもしれないことを考えると、自然も含め地球上の動物、植物あらゆるものが大きな生存競争（自然淘汰）という嵐の中に初めから埋め込まれているものなのかと思ったりします。

毎年のように起きる世界各地の民族紛争、経済紛争、覇権主義、人種の争い、貧富の格差、差別、土地の奪い合い、技術進歩の格差、学歴格差、性の格差、そのことがあるが故に、勝ち組ができ、すなわち違うことが格差を生み、それを埋めるためのエネルギー使用そのものが争いであり、新しいものを生み出すエネルギーになるという説明が成り立つことになりました。

しかし、このことを肯定することは争いを必要悪と認めることとなり、人類誕生以来目指してきた戦いのない社会、

貧富格差のない世界、差別のない社会、共生・共存の社会、立場を認め尊重する社会、男女平等の社会等々を目指す社会づくりの基本（目標）が大きく崩れることとなります。二千年を過ぎる長い期間、究極の幸せな社会を目指し、先人が、あるいは我々の先祖が血を流し汗を流して戦ってきた格差のない大義は、永遠に時間を要する大きな目標であつても、次世代につなぐための大きな変えることのないものとして、一つひとつの難しさは伴つても、まずは争い戦うことのない社会実現のために新年も進んでいきたいと思ひます。

今年の取り組みとして、安全安心、災害対応、東洋大学撤退への対応、新エネルギー水素住宅着工、企業用地・住宅用地販売、教育施設修繕、保育一園化検討、町道などの改良、産業育成などを展開してまいります。

皆さまにとって幸多き年でありませうと祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

栗原 実
板倉町長



小林武雄
板倉町議会議長

住民意見の議会での共有化をさらに進めます

明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、令和6年の新春を健やかに迎えのことがお慶び申し上げます。

さて昨年は、ロシアによるウクライナへの侵攻が改善されず、更に悪化の一途をたどり国際社会の平和を脅かす報道があり、皆さんも心を痛められたことと思います。国内では、長引くコロナ禍や原油高、物価高騰の対応に追われました。当町においては、新型コロナウイルス感染症が5類となつて以降、人流が活発になり、各種行事などが開催され始めました。本年は更に活発になることを期待しています。

令和6年度は、板倉町総合計画後期基本計画の初年度となります。目標達成に向けて、議会として進捗状況を随時報告してまいります。

結びに、本年も引き続き、議員全体で「地域で支え合う安全なまちづくり」を目指し「責務」と「使命」を果たしてまいりますので、更なるご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



今井三枝子
板倉町行政区長会長

より一層、皆さまのご理解ご協力を

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかではありましたが、少しずつ行事やイベントが再開するなど、明るい兆しも見えてきました。

その中で少子高齢化が進み、町民体育祭、スポーツフェスティバルなどの行事の開催については、以前と同じような取り組みでは難しい状況になってきたように思われます。その解決策と

して、町を盛り上げるために重要となってくるのが、地元の皆さまがたのしみとご理解とご協力であり、そのことがより一層必要な時期になってきたのかと思われまがいかでしょうか。

私ども区長の任務もあと数か月ほどで終わりますが、新規役員選出などへの積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

基礎基本を大切にすること、非認知能力を育てること

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、令和6年の新春を健やかに迎えのことがお慶び申し上げます。

さて、令和5年4月、町内全児童生徒に「学びのすすめファイル」を、保護者には啓発資料をそれぞれ配布いたしました。凡事徹底のもと、学習の基礎基本となる学習習慣・生活習慣の定着を図りたいという思いからです。学校と家庭との連携により、徐々に向上してきているのではないかと考えています。

今年重点を置いて取り組みたいことは、非認知能力の育成です。非認知能力とは、テストなどの数値には表せない能力のことです。例えば、自主性、

主体性、協調性、自己肯定感、困難を乗り越えようとする力などのことで、数値に表せる認知能力と同様に大事にしたい力です。子どもたちが社会に出て向き合う問題の多くは、正解が教科書のようにない場合が多いと思います。

このような未知の問題に果敢に挑戦して、正解がない問いに自分なりの正解（答え）を導き出すには、非認知能力が不可欠です。町教育委員会としても、基礎学力としての認知能力の定着に尽力することはもちろんですが、この非認知能力の育成にも力を入れていきたいと思っております。

町民の皆さまにとって、本年が実りの多い年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。



赤坂文弘
板倉町教育長

担い手と優良農地確保の責任

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年7月、農業委員および農地利用最適化推進委員の改選により、新たな体制でスタートしました。また、昨年4月には農業経営基盤強化促進法が改正となりました。その背景としては、

今後、これを地域に根付かせ実効あるものとするため、農業委員会は10年後の農地利用の将来像である「目標地図」の素案を作成する役割を担うこととなります。

農業者の減少の加速化が見込まれる中、生産の効率化やスマート農業の展開などを通じた農業の成長産業化に向け、分散（きま）の状況を解消し、農地の集約化を進めるとともに、人の確保・育成を図る措置を講ずることが必要のため、市町村において地域計画を作成することが法定化されました。

また「人と農地」の問題を中心とした地域の話し合いをリードし、意欲ある担い手と貴重な優良農地を将来にわたって確保していく重責が期待されています。農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、担当区域ごとの活動を通じて農業経営者の声や実態を十分に反映して参りたいと考えております。

最後に本年が皆さまにとりまして実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。



小菅正美
板倉町農業委員会長

困りごとや日常生活を取り戻すための支援を

新年明けましておめでとうございます。昨年は皆さまにとってどんな一年であったでしょうか。今年はさらに、より良い一年でありますようお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類となり「日常生活を取り戻す」との方針で、三密や飲食、団体旅行などが解禁されました。有名観光地では、外国人観光客であふれ、賑わいを取り戻しています。

しかし、多くの人にとって、コロナ前と同じようにはいかなかったようです。異常気象による猛暑や、物価高、そして何より三年という歳月を経たということだと思えます。

社会福祉協議会においても「コロナ前」を目標に、芸能発表会やカラオケ

大会、福祉まつりなどを実施しました

が、以前と同じように戻るまでには至らなかったように思います。また、介護施設利用者も、コロナ禍での利用控えの影響が続いています。介護・介助

が必要なたちはどうしているのでしょうか。老老介護やヤングケアラーが増えているのでしょうか。コロナ禍で、孤立・孤独が増えたという話も聞きます。一人暮らし高齢者や引きこもりの問題はどうか。皆様どうなっているのでしょうか。皆さん、通院や買い物、友人たちとのお茶会や会食などはできていますか。

社会福祉協議会は、今年こそ町民の困りごとや日常生活を取り戻すため、行政や区長会、民生・児童委員やボランティアの皆さんの力を借りながら支援をしてまいります。



峯崎俊雄
板倉町社会福祉協議会長

商工業発展と地域住民とのふれあいのなかで

謹んで新春のお慶びを申し上げます。中小企業を取り巻く経済情勢、物価高騰の波も長期化し、先行き見通しは依然として見えないなか、不安と希望を模索している町民皆さまの想いを感じながら正月を過ごさせていただいております。

昨年は、今までコロナ禍で悩まされた日常の行動規制が徐々に緩和され、商工会が進める地域振興策として、一大イベントである「いたくら商工祭」を4年ぶりに復活させようと昨秋に不安と期待の交錯のなかで開催いたしました。当日の天候や会場周辺における催事イベントも加わり、予想に反しての賑わいを見せ、主催者代表として来場者、関係皆さまに厚くお礼申し上げます。

商工会の本使命は、小規模事業者への

の円滑な事業経営の支援、もう一つが「地域振興」への取組支援です。町内小規模事業者と町民皆さまが地元で買い物ができ、そして末永く交流、コミュニケーションを図れることが、商工会からの何よりの願いであります。

私事ではありますが、今年で75歳を迎え、人生百年を目標とすれば、4分の3にたどり着きます。残り4分の1のスタートとして「甲辰」の龍に導かれ、地域および事業者の皆さまと共に元気で住みよいまちづくりのお手伝い

ができればと存じます。皆さまには、本年が心穏やかな幸運な年でありませうと祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



小池敏郎
板倉町商工会長

地域の皆さまの身近な相談相手として

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、令和6年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から民生委員・児童委員の活動に対しまして、多大なご理解とご協力をいただきまして感謝申し上げます。

一昨年、全国一斉に委員の改選が行われ一年が過ぎましたが、コロナ禍の3年間の思いが後を引いており、以前のような活動に戻るまでには、まだまだ時間がかかることと思えます。民生委員の仕事は、地域に暮らすか



小谷野泰一
板倉町民生委員・児童委員協議会長

たがたのあらゆる生活上の相談に応じ、

役場福祉課や社会福祉協議会をはじめ、必要と思われる行政機関に生活状況の実態をお話しして、皆さまが同じように生活できるようにすることです。

誰しもが安全安心に暮らせる社会づくりをモットーに、地域の「見守り」を通して、より一層がんばる所存であります。

結びに皆さまのご健勝とともに、福祉行政をより発展させられる平和な世の中であることをご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

起こりうる災害に備え

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、消防団員とそのご家族の皆さまにおかれまして、日頃のご苦勞とご活躍に心から感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、消防団活動もコロナ禍以前の活動に戻してまいりました。私たち消防団は、日々の訓練や防災教育を通じて、火災や災害から町全体を守るために尽力しています。しかし、その安全を確保することは私たちだけではできません。皆さまのご協力が不



赤坂晴久
板倉消防団長

可欠です。日常生活での火の用心、非常時の行動計画の確認、町の防災訓練への積極的な参加など、皆さまの防災意識の向上が、より安全なまちづくりにつながるかと考えております。

板倉消防団一同、板倉町を安全で住みよい町とするため、起こりうる災害に備え、必要な訓練を重ねてまいりますので、皆さまのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に本年が災害のない素晴らしい一年となりますことをお祈り申し上げますとともに、町民の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



荒山江知郎
邑楽土地改良区理事長

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

邑楽土地改良区では、板倉町と館林市東部地区の農業用排水の管理、水路や堰の維持管理を行っております。

近年、土地持ち非農家の増加により耕作放棄地が増えつつあります。耕作放棄地は、景観を損ね、狸などの野生動物のすみかとなり、枯れ草火災など私たちの生活に大きな影響を及ぼします。

その対策としても、農地の集積は必要不可欠なことだと考えております。ほ場を大きくすることで作業効率が上

農地の集積が進む取り組みを

がり、より多くの面積を耕作することができるようになり、それは健全な環境を保つことにもなります。

農地の集積は簡単なことではありませんが、当改良区でも昨年より農地の集積が進むよう積極的に取り組んでまいります。

これからも組合員皆さまの負託にこたえるよう全力で運営を行い、行政と手を取り協力し合うことが町の発展にもつながるものと思っております。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。



荒井英世
板倉町文化協会長

文化の裾野の拡大を目指して

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

振り返れば過去4年余り、新型コロナウイルス感染症への対応のため、当協会加盟団体では活動の場が制限され、厳しいものがありました。そんな中でも会員の熱い思いもあり、昨年には町民文化祭なども予定どおり実施されました。やはり、展示や芸能発表を通じて、より多くの人に見ていただくことで、会員の励みにもなり、その中での人との交流がいかに大切であるかを再認識した次第です。

さて、少子高齢化のなかで、当協会

においても高齢化による会員不足があります。持続的な文化活動を推進するためには、世代を問わず興味を持っていただき、参加していただくことが必須だと思えます。それには展示や芸能の発表の機会を増やし、文化に触れることの楽しさや体験できる機会を設け、文化の裾野の拡大を図ることが必要だと思えます。

コロナ禍のなかで人と人とのふれあいが希薄となりましたが、文化活動は地域コミュニティの活性化を図る原動力となります。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

令和6年



高鳥天満宮の龍の彫刻

本年もよろしく願いたします



小野田元伸
板倉町体育協会長

コロナ前への回帰を目指す新たな時代の中で

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、令和6年の新春を穏やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃から、体育協会の活動に對しまして、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

我々が、かつて経験したことのないほど町民生活に大きな打撃をあたえてきた新型コロナウイルス感染症も、ようやく爆発的な感染は影を潜め、感染症法の位置づけもインフルエンザと同等の5類に引き下げられました。依然として油断はできないとはいえ、またひとつ、スポーツ活動を推進するための環境が整いつつあるということ、大変嬉しく思うところであります。

昨年は、町民体育祭やスポーツフェスティバルをはじめとするスポーツイ

ベントも久しぶりに実施し、小学生ミドル、シニアの各世代が心一つにしてスポーツに励む姿は、コロナ禍で疲弊した私達の心に、ささやかな癒しと安心を与えてくれました。

コロナ禍の過酷な時を経て、人々の生活様式や意識も変わりましたが、当協会としましては、コロナ前への回帰を目指す新たな時代の中で「スポーツ」に対して興味・関心を持っていただき「する・みる・支える」など、皆さまがスポーツを通じて「心躍らせ」楽しむ機会の提供や、改めて「スポーツ」という文化を大切に育みながら、スポーツ活動を通して町民の健康づくりや青少年の健全育成に努めてまいります。

結びに、皆さまがたの更なるご健勝・ご活躍をご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。